

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

阻止連ニュース NO. 1152

2012年4月3日
TEL FAX 046-856-8714
携帯 090-1995-7599



去年の搬出作業 白いコンテナ

「放射能汚染」の危険性 米軍、10日搬出と通告！ 放射能被害を心配する 世論への重大な挑戦 ただちに中止せよ！

昨日、米海軍は今年の原子力空母ジョージ・ワシントンからの「放射性廃棄物」の搬出を10日（火）の午前中に開始し、同日終了予定であると横須賀市に通告してきた。

米海軍からの通告によると、「搬出作業」では日本人従業員がクレーンを用いる作業に従事するがコンテナに触れることはないとも述べています。

米海軍からの搬出作業開始の通告を受けた横須賀市は米海軍に作業の中止は求めず、また、昨年は「余震が発生した場合は速やかに作業を中断すること」を「確認」していましたが、今回はこの点さえも確認からはずし、①作業の実施あたり、安全管理に細心の注意を払う。②作業に直接従事する日本人従業員には、事前に作業についての説明を行い、適切な指示を与える。③実際に作業に従事するものだけでなく、他の日本人従業員が不安を抱かぬように、説明を実施するの3点を「確認」するに留めています。

どうして、横須賀市や外務省は首都圏直下大地震など、連日のように大地震関係報道があっても、また福島原発事故により原子力空母も重大な事故は起きないという保証が崩れたのにもかかわらず、さらに、今なお余震が活発な状況にあっても、「海に浮かぶ2つの原子炉」である原子力空母について、米海軍に毅然と撤退と搬出作業の中止を求めないのでしょうか。市民、国民の命よりも米軍優先、米軍任せの姿勢は世論への挑戦です。

空母の放射性廃棄物10日に搬出
横須賀市に
米軍が連絡
横須賀市は二日、米海軍横須賀基地に配備されている原子力空母ジョージ・ワシントン（GW）の定期点検に使われた雑巾や手袋などの低レベル放射性廃棄物が、十日に同艦から運び出されると発表された。放射性廃棄物の搬出は昨年六月に続き四回目。
米海軍が二日、市に伝えた。廃棄物はコンテナに詰め運び出

す。同基地敷地内に陸揚げされず、クレーンで運搬船に移し替え、米国に運んで最終処理される。日本人の基地従業員も搬出作業をするのではないという。米海軍は「作業の実施に当たり、安全管理に細心の注意を払う」と横須賀市に伝えており、作業に関わる日本

人従業員たちには事前説明もするとう。

今年の搬出について報道
東京新聞12年4月3日